

基本目標（方針）	基本施策	主な施策（アクションプラン）
1 新たな起業に向けた仕掛けづくり（空き店舗・空き地の解消）	■商店街の空き店舗の解消に繋げていくための人材誘致	■起業に向けた飲食ビジネスチャレンジの支援 ■新規開業に伴う店舗改装等の支援 ■空き店舗・空き地情報の発信
2 新たな集客を呼び起こす仕掛けづくり（集客活動の強化）	■地域資源や特性を活かした商店街イベントの開催 ■商店街の利便性や個店の魅力向上に繋がる環境構築	■多様な地域資源を活用した商店街イベントの開催 ■商店街DXの普及促進 ■栗夢カードの電子化と行政連携による基盤構築
3 地域コミュニティの拠点づくり（コミュニティ機能の強化）	■地域コミュニティの充実による賑わいづくりの推進	■栗夢プラザの活用機会の拡大 ■商店街と地域を繋ぐコミュニティFM放送の活用
4 商店街の知名度づくり（地域ブランドの構築）	■地域の食・観光資源を活かした商店街ブランドの創出	■商店街の観光地づくりとご当地グルメの開発 ■町内各施設と連携した商店街来訪機会の創出
5 実行・挑戦の基盤づくり（後継者の育成、組織強化）	■次代の商店街を担う後継者・リーダーの育成と組織力の強化	■スキルアップや実践力向上に繋がる多様な学習機会の提供



第2期
計画策定

商店街をもっと元気に！ 商店街活性化アクションプラン

町では、令和元年6月に策定した「第1期栗山町商店街活性化アクションプラン」に基づき、さまざまな商店街振興施策に取り組んできました。

第1期計画では「新たな挑戦・実行により、賑わいにあふれ魅力ある商店街を創出する！」を基本理念に、5つの商店街振興の方針を掲げ、各施策を推進してきましたが、人口減少や少子高齢化の進展、消費者の買い物行動の多様化に加え、新型コロナウイルスによる経済活動の停滞など、商店街を取り巻く環境は依然として厳しい状況です。

このことから、第1期計画における4年間の成果と課題を踏まえ、商業者や消費者ニーズにあつた新たな商店街活性化の基本方針を設定し、商店街活性化に向けた効果を発揮させることを目的に、「第2期栗山町商店街活性化アクションプラン」を策定しました。

アクションプランの位置付け

商店街活性化アクションプランは、令和5年度から令和8年度までの4年間で計画期間とし、町の最上位計画である第7次総合計画の重点プロジェクト「産業振興対策」およびまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる「産業と雇用の場の創出」をより具体的・戦略的に推進していくための指針として示したものであり、これに基づき具体的施策をアクションプランとして策定しています。

商店街活性化プロジェクト 会議での検討

アクションプランに掲げる具体的施策を検討・実践していくため、個店経営者および後継者、商工会議所、行政で構成し、商店街振興に向けた課題把握と共有、今後の目指す方向と具体的施策の検討を行いました。



【第1期商店街活性化アクションプランで実施した主な取り組み】

まちなかレストラン創出事業



新規出店や賑わい創出を目的に「日替わりシェフ方式の飲食チャレンジショップ」を行いました。町内外から23件が出店し、多くの料理が提供されました。うち2件の出展者が商店街の空き店舗で開業しています。（出店者数23件：町内13件、町外10件、営業日数320日、来客者数4,982人）

商店街マルシェ (in 栗夢プラザ)



賑わい創出と地元農産物のPRを目的とした定期朝市イベント「ファーマーズマルシェ」を行いました。新型コロナの影響で、令和元年のみの実施でしたが、生産者との触れ合いや町の特産品を知る機会として、多くの方が来場しました。（開催回数5回、出店件数24件、来場者延人数738人）



フルーツ仲井（中央2）
なかい こうすけ
店長 仲井 浩祐 さん

商店街一丸となって活動を

商店街関係者たちと協議を重ね、今回の計画策定となりました。コロナ禍もあり、思うようにいかない日々が続いていましたが、会議内では「もっとイベントをやりたい」との声も多くあり、今後は積極的に活動することで、商店街が町民の皆さんの楽しめる場所になればと思います。くりふとやFMラジオなど、町の新たな動きとも連動しながら、世代問わず、商店街一丸となって盛り上げたいです。

アクションプランの詳細は町ホームページに掲載しています。



【問い合わせ】
町ブランド推進課
観光・賑わい推進グループ
☎ 76-7787